

令和5年度事業計画書

[1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業1）

1. 学術講演会の開催

- ・第119回学術講演会 令和5年10月12日、13日

場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

参加予定者数 約600名

2. 特別シンポジウムの開催

- ・第26回特別シンポジウムを行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

- ・ブロックイベントを行う予定。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

3. 公開講演会

- ・令和5年度公開シンポジウムを行う。

テーマ「食中毒の季節にそなえる」

開催日 令和5年6月5日

場 所 中央区日本橋公開堂（東京都中央区）

内 容 「リスク評価に基づく食中毒制御」（仮）

山本茂貴（内閣府食品安全委員会委員長）

「カビのリスクを考える」（仮）

小西良子（日本食品衛生学会会長・東京農業大学）

参加予定者数 約100名

農薬リスクコミュニケーションの公開シンポジウムの開催

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2023 食の安全・科学フォーラム 第22回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行う。

開催日 令和5年5月17日
場 所 東京ビックサイト
内 容 水産食品の安全性

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）	第64巻2号～6号	各発行部数	1,800部
	第65巻1号	発行部数	1,850部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	1,000部
第119回学術講演会要旨集		発行部数	1,000部

- ・下記のリスクコミュニケーション事業

残留農薬等のデータベース等の作成、更新等

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和5年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第119回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「学会賞受賞者」

長島 裕二（新潟食料農業大学）「フグの毒化機構と安全確保に関する研究」

「学術貢献賞受賞者」

大城 直雅（国立医薬品食品衛生研究所）「シガトキシン類微量分析法の確立とシガテラ魚類中毒のリスク管理に関する研究」

西村 一彦（北海道立衛生研究所）「脂肪酸並びに食品に残留する化学物質分析法の改良と調査研究」

「奨励賞受賞者」

内山 陽介（神奈川県衛生研究所）「デオキシニパレノールおよびシトレオビリジンのリスク評価に資する毒性学的研究」

- ・食品衛生学雑誌第63巻論文賞授賞式を第119回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「合成樹脂製の器具・容器包装における溶出試験の精度の検証 <報文>」第63巻第2号p. 51～61 尾崎麻子¹ 六鹿元雄² 岸 映里¹ 阿部智之³ 阿部 裕² 安藤景子⁴ 石原絹代⁵ 牛山温子⁶ 内田晋作⁷ 大坂郁恵⁸ 大野浩之⁹ 風間貴充¹⁰ 加藤千佳¹¹ 小林 尚¹² 佐藤 環¹³ 柴田 博¹⁴ 関戸晴子¹⁵ 高島秀夫¹⁶ 田中 葵¹⁷

外岡大幸¹⁸ 花澤耕太郎¹⁹ 山口未来² 山田悟志²⁰ 吉川光英²¹ 渡辺一成²² 佐藤恭子² ¹(地独)大阪健康安全基盤研究所 ²国立医薬品食品衛生研究所 ³(公社)日本食品衛生協会 ⁴長野県環境保全研究所 ⁵(一財)日本食品分析センター 彩都研究所 ⁶川崎市健康安全研究所 ⁷(一財)日本穀物検定協会 ⁸埼玉県衛生研究所 ⁹名古屋市衛生研究所 ¹⁰(一財)日本食品分析センター 多摩研究所 ¹¹愛知県衛生研究所 ¹²(一財)食品分析開発センターSUNATEC ¹³福岡県保健環境研究所 ¹⁴(一財)東京顕微鏡院 ¹⁵神奈川県衛生研究所 ¹⁶(一財)化学研究評価機構 大阪事業所 ¹⁷(一社)日本海事検定協会 ¹⁸さいたま市健康科学研究センター ¹⁹(一財)食品環境検査協会 ²⁰(一財)日本食品検査 ²¹東京都健康安全研究センター ²²(一財)化学研究評価機構 東京事業所

「スポンジたわしを介した調理用ボウル間的小麦アレルギーの二次汚染<報文>」
第63巻第2号p.70~78 橋本博行¹ 池田達哉² 吉光真人³ 清田恭平³ ¹三重短期大学 ²農研機構 西日本農業研究センター
³大阪健康安全基盤研究所

Evaluation of the Capacity to Produce Histamine by Histamine-Producing Bacteria during Storage at 10°C <Original Paper> 第63巻第4号p.129~135 千葉雄介 藤原 茜 吉野典孝 大阪美紗 佐藤実佳 高瀬冴子 土井りえ 大塚佳代子 島田慎一 石井里枝 埼玉県衛生研究所

[4] 若手研究者育成事業(公益目的事業4)

- ・令和5年度厚生労働科学研究(食品の安全確保推進研究事業)の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

[5] その他

- ・会員の相互扶助事業については令和2年度から事業を開始し、下記の内容で実施する。
 1. 会員限定「学術小集会:FHSコミュニティ」
年数回の開催を目標とする。
 2. 会員限定のメルマガを配信する。月2回配信(7月からは月1回配信)
 3. 論文作成に関する相談会を開催する。

[6] 総会・理事会の開催

- ・令和5年度総会を下記のとおり行う。

開催日 令和5年6月5日

場 所 日本橋公会堂(東京都中央区)

議 案 令和4年度事業報告および同決算報告

令和5~6年度役員の改選

- ・4月、6月、10月、2月に理事会を行う。